

♪ 速海ちひろ(ハーピスト・ソプラノ) ♪

幼少から音楽・演劇・バレエを学ぶ。その後、邦楽の世界にも身を置き、一時はその道を志すも、奨学金を得て英・仏に留学。ハープと声楽を学ぶ。シャーロット・シール、キャトリーヌ・ミシェルらに才能を見出され、わずか数年のうちに、'UFAM パリ国際コンクール中級部門第一位、同コンクール上級部門審査員全員一致の2位(1位なし)、J・F・モーリー賞ほか、国際コンクールやマスタークラスで優勝・受賞を重ねる。その後、名教師ジェルメーヌ・ロレンツイーニのもとで研鑽を積みつつ、声楽とハープを組み合わせた、“グランドハープの弾き歌い”を開拓。新しい表現の可能性を追求し、現在、その第一人者として、国内外で活躍の場を広げ、注目を集めている。

2004年 イザベル・モレッティ氏を招き、「京都日仏ハープ塾」を設立・開催。その後、「京都フランス音楽アカデミー」にハープクラス開設の道を拓くなど、ハープ界にも大きく貢献。

2010年 レジヨンドヌール叙勲式にて日仏国家独唱を務める

2014年 イザベル・ペラン氏の推薦により、「第12回世界ハープ会議」に出演。絶賛を浴びる。

2018年 岐阜国際音楽祭コンクール、アンサンブル部門にて、最高位(1位なしの2位)を受賞。

今後、森本英希とのアンサンブルで、国内だけでなく、海外の音楽祭にも出演が予定されている。

過去には地唄箏曲のほか、地唄舞を五世井上八千代に師事するなど、日本の芸にも造詣が深く、これまでに、箏曲からの編曲や、古典芸能とのコラボレーション等も手掛け、好評を得ている。

立教大学文学部仏文学科出身。元関西フランス学院非常勤講師。チャリティコンサートへの貢献に対し、国際ロータリー財団より、ポールハリスフェローの称号を授与されている。

♪ 森本英希(フルート) ♪

京都市立芸術大学修士課程修了。2010年度大学院市長賞、2012年日本フルートコンヴェンションコンクールアンサンブル部門第1位、2018年岐阜国際音楽コンクールアンサンブル部門最高位(1位なしの2位)などを受賞。

現在、テレマン室内オーケストラ首席フルート奏者。「京都バロック楽器アンサンブル」代表、フルート四重奏団「アンサンブル・リュネット」リーダー、現代音楽アンサンブル「ネクスト・マッシュルーム・プロモーション」団員。

ライブツィヒ・バッハ・フェスティバル(2003)、第12回丹波の森国際音楽祭(2006)、第30回韓国国際音楽祭(2012)、武生国際音楽祭(2013)、仙台リコーダーフェスティバル(2014)などにソリストとして出演。

ライブツィヒ・バッハフェスティバル2003、コレギウム・ムジクム・テレマンのCD録音などを含む多数の録音に参加するほか、京都バロック楽器アンサンブル代表として数多くの演奏会をプロデュースしている。

2013年11月には日本テレマン協会第125回定期演奏会においてモーツァルトのフルート協奏曲をオリジナル楽器により演奏。この演奏は「音の温もりといい自然体のプレスといい、奏者の人間味が伝わってくる好演(萩谷由喜子)」評された。

フルート・リコーダー・篠笛等様々な笛を持ち変えることのできる稀有な奏者であり、個性あふれる演奏会やワークショップを日本各地で行っている。

これまでにフルートを安藤史子、伊藤公一、大嶋義実、白石孝子の各氏に師事。古典フルート奏法を竹林秀憲、リザ・ベズノシウク、マルク・アンタイの各氏に学ぶ。能管を左鴻泰弘氏に、篠笛を藤舎貴生氏に師事。